

きらり おばま 人

全国女性消防操法大会出場!! 若狭小浜女性消防隊



7月15日、若狭消防本部で（前列左から嶋口さん、成瀬さん、三嶋さん、後列左から清水さん、高山さん、岩本さん、武田さん）

10月19日に横浜で開催される第20回全国女性消防操法大会に出場する若狭小浜女性消防隊。昨年4月に発足し、現在、20〜40代の7人が所属。週3回、約2時間の練習に励んでいます。

「7月末から練習を始めたんですが、敬礼や声掛け、放水など初めてのことばかりで、慣れるまで苦労が絶えませんでした」と話すのは隊長の成瀬由香さん（国分）。

今回、女性消防隊が操るのは「D1級軽可搬ポンプ」という小型ポンプ。指揮者の嶋口さんと、1番員から4番員の計5人が協力して3本のホースをつなぎ、放水して標的を倒すまでのタ

女性の力で地域の防災力を向上させたい

イムや正確さなどを競います。

「放水で的をねらうのが大変」と話す1番員の武田さん。「ホースをきちんと伸ばすのが難しい」と話す2番員の三嶋さん。「動きを全員で合わせるのが大変」と話すのは、3番員の高山さんと4番員の岩本さん。そして、みんなのサポートに汗を流すのが、補助員の清水さんです。

大会の目標について成瀬隊長は、「ズバリ上位入賞です。本番では会場の雰囲気にもまれないよう、しっかり準備をして、自分たちの力を出し切りたいです」と意欲をのぞかせます。

女性消防隊は、全国大会出場のほか、イベントなどでのPR活動も行っているそうです。

「女性消防隊を知らない人は、まだまだたくさんいます。今後は、地域の人たちにわたしたちのことを少しでも知ってもらい、防災意識を高めてもらいたいですね。今は練習で忙しいですが、大会が終われば、防災の啓発をもっと積極的にを行い、地域の防災力を少しでも向上させていきたいですね」と成瀬隊長は話します。

最近、増加傾向にあるという女性の消防団員。大会での活躍とともに、今後の若狭小浜女性消防隊の活動が、地域の防災力向上につながることを期待します。

●あなたの周りの「きらり輝いている人」「生き生きしている人（グループも歓迎）」を紹介してください。
市民協働課 広報・広聴グループ ☎53・1111 内線373

協働のまちづくり情報BOX (vol.1)

「協働のまちづくり」市民会議を設置!

■問い合わせ 市民協働課 ☎内線372

小浜市では、目指す将来像を『夢、無量大』感動おばま』と位置付け、それぞれが自ら感じ、自ら動くことにより、「地域力」を高め、「結集」することで、協働のまちづくりを進めています。

これからのまちづくりは、行政だけでなく、市民・団体・事業者が一丸となって、地域の課題解決に取り組んでいくことが不可欠です。

そこで、今月から、「協働のまちづくり情報BOX」コーナーを設け、協働に関する各地区の取り組みや話題、情報などを幅広く紹介していきます。

今回は、第1回目として、7月14日に設置した、「協働のまちづくり市民会議」について紹介します。

【市民会議の役割】

協働のあり方・進め方などを盛り込んだ協働の基本指針（ガイドライン）の策定のほか、協働のまちづくりを進めるための施策を検討します。

【経過と今後の取り組み】

8月9日に開催された第2回市民会議では、協働のまちづくりの現状や背景・必要性、効果などについて協議しました。今後は4回の会議を開催し、協働の原則や進め方、推進方策などを検討し、来年3月に基本指針（ガイドライン）を取りまとめる予定です。



第1回協働のまちづくり市民会議

短歌

蒼島短歌会

夏祭りの夜店に金魚を掬ふ児の
眼するどく一点を追ふ
飯盛 谷口 正枝

夜半に目覚め缶コーヒーを飲み終へて
これから後は私の時間
下加斗 西尾 道子

父の碑に子孫曾孫うち揃ひ
香炊きをりて幸せを告ぐ
飯盛 古谷 擴子

俳句

小浜市俳句作家協会

宅配にかけ込む人にしぐれ来し
上野 泉代 良子

小浜湾十六夜の潮くろろぐろと
小浜津島 植村富美枝

溝蕎麦に微塵の虫の光りとぶ
山王前一丁目 船上 照江

山柳

若狭番傘川柳会

自信持ち今日一日を人のため
小浜津島 加藤みつゑ

仏様猛暑で造花お許しを
小浜玉前 熊田千代子

押し押されだんだん空が近くなる
生守 桑 俊江

広告

広告

広告

広告

広告

広告